

名古屋市立大学の「今」を伝える広報誌



特集

2017年11月17日(金)、社会貢献活動をしている学生の活動報告や意見交換を行う「名市大リンクトポス」を開催しました。(→P1)

全学一体となって魅力ある地域づくり 名市大の社会貢献!

- 01 特集
- 02 TOPICS
- 05 学生の活躍／教員著書・発行物紹介
- 06 受賞関連／国際交流
- 07 イベントカレンダー／寄附顕彰

DONATION

あなたの力が支えます。 ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：事務局総務課
tel.052-853-8005

全学一体となって魅力ある地域づくり 名市大の社会貢献!

「教育」「研究」と並び、大学の重要な使命である「社会貢献」。名古屋市が設置した団体である本学は、地域と連携・協働し、大学の有する資源を還元することを通じて、地域の課題解決に寄与しています。今回の特集では、その取り組みの一部を紹介します。



市民公開講座の様子

名市大の特色は?

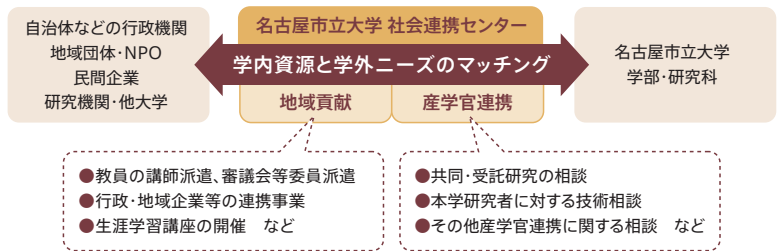
大学の地域貢献度が 東海地域でNo.1!

2017年11月に日本経済新聞社が、全国748の国公私立大学を対象に発表した「大学の地域貢献度に関する全国調査2017」の総合ランキングにおいて、本学は東海地域で第1位(全国15位)となりました。なお、この調査は、大学が教育や研究などを通じて地域社会にどのような貢献をしているのかを探るものです。本学の総合ランキングは着実に順位を上げており、教職員・学生による地域貢献の組織的な取り組みが評価されています。

活動の総合窓口は?

学内資源と学外ニーズのマッチング 「社会連携センター」

社会連携センターは、大学の有する資源を活用し、産学官との連携や地域を志向する教育、研究による地域連携を推進することを通じて、市民・地域社会・企業などと協働し、社会貢献を行うことを目的に設置されています。



学生も活躍!

学生の自主的な社会貢献活動を支援 「名市大 リンクトポス」開催

2017年11月17日(金)、課外活動などを通じて社会貢献活動をしている学生が集まり、活動報告や意見交換を行う「名市大 リンクトポス」を開催しました。学内外でも盛んに自主的な社会貢献活動が行われる中、今年は5つの団体が活動内容や成果を発表し、参加者全体で工夫や悩みを共有するなど、今後の活動に生かされることが期待されます。



<発表団体>「蝶ヶ岳ボランティア診療班」「映像によるまちづくり(芸術工学部映像研究室)」「アカベラサークルAndante」「保育サークルぼぼんた」「名市大広報NCU.info」



アカベラサークルAndante

地域や福祉関連のイベントなどで歌うだけではなく、ごみ減量をテーマにしたオリジナルキャンペーンソングのボーカルを名古屋市から依頼されたことも。その曲が入ったCDは名古屋市内の小中学校などに配布される予定です。



保育サークルぼぼんた

2017年10月29日(日)、滝子商店街との連携事業「滝子マルシェ」では、子どもたちに向けた絵本の読み聞かせやブース出展を実施。この事業には、ぼぼんたを始め計20人の学生が参加しました。

課外活動・社会貢献活動表彰 「瑞躍賞(ずいやくしょう)」

優れた評価や成績を修めたなどの顕著な功績のあった個人や団体に、本学では初となる表彰「瑞躍賞」を学長から手渡しました。

<被表彰者>

課外活動部門

- ・電卓競技日本一
杉本 浪乃さん(経済学部4年)
- ・中部学生ジャグリング大会優勝等
田多 加津輝さん(医学部3年)
- ・東海地区ダンス大会優勝
柳瀬 貴大さん(経済学部3年)

社会貢献活動部門

- ・名古屋市立大学消防団
- ・名古屋市博物館サポーターMARO
- ・映像によるまちづくり
(芸術工学部映像研究室)

詳しくは…

- WEB版地域連携事例集
<http://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/renkeijirei/>
- イベント等開催報告
<http://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/report/>

「公立大学法人名古屋市立大学 第三期中期目標」が策定されました

2017年12月、第三期中期目標が名古屋市長により策定されました(目標期間:2018~2023年度)。第三期中期目標では「全ての市民が誇りに思う・愛着の持てる大学」を基本理念として、教育、研究、社会貢献などの法人の業務運営に関する6年間の目標が定められています。本学では、この中期目標に基づいた中期計画を2017年度中に作成し、目標達成に向けて全学で取り組んでまいります。

■本学ウェブサイトにて第三期中期目標の全文を掲載

<http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/evaluation/news/010522.html>

給付型奨学金

「名市大生スタート支援奨学金」を開始

経済的理由により修学に困難がある学生を支援するため、名市大生みらい応援基金を財源とした給付型奨学金制度「名市大生スタート支援奨学金」を2018年度から開始します。対象者は住民税非課税世帯に属する学部1年生(留学生を除く)で、給付額は1人あたり年額5万円です。申請受付は4月上旬~5月上旬を予定しています。

■詳しくは本学ウェブサイトから以下のページをご覧ください。

<http://www.nagoya-cu.ac.jp/education/fees/kyufu/>

医学部附属病院

手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を 最新機種に更新

医学部附属病院では、これまで手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を用いた低侵襲手術を積極的に行い、泌尿器科分野では全国でトップクラスの実績をあげてきました。この度、従来機種「ダ・ヴィンチ S」を最新機種「ダ・ヴィンチ Xi」へ更新しました。以前と比べ、機器がスリムになるなど操作性が大幅に向上し、これまで以上に精度の高い手術が実施できると考えています。今後は泌尿器科や小児泌尿器科だけでなく、消化器・一般外科や呼吸器外科、婦人科分野においても活用していく予定です。



DATE 2018.1.16

名古屋市立大学×中京大学 中京大学との 包括連携協定を締結

2018年1月16日(火)、新たな他大学との連携として、近隣の大学であり、同じ総合大学でもある中京大学と、包括連携協定を締結しました。今後、両大学と地域社会の一層の発展に資するため、教育、研究、社会貢献等に関して連携を推進し、学術及び産業の発展並びに人材の育成に寄与していきます。



中京大学 安村仁志学長(左)、本学 都健二郎学長(右)

国民年金「学生納付特例制度」の申請を 学生課学生支援係窓口でできるようになりました!

日本国内に住むすべての人は、20歳になった時から国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務づけられていますが、学生については、申請により在学中の保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。

2017年11月1日(水)から、市区役所・町村役場や年金事務所に加え、在学生であれば滝子(山の畑)キャンパス学生課学生支援係窓口(3号館1階)でも申請できるようになりました。ぜひご利用ください。



11月1日に行われた啓発イベント・相談会の様子

DATE 2017.11.16-18

医学部附属病院

NBC災害・テロ対策研修に参加

2017年11月16~18日、大阪府立急性期・総合医療センターにて開催された同研修に、異なる所属から選ばれた5人が参加しました。NBCとは、核(Nuclear)、生物(Biological)、化学物質(Chemical)のこと。日本でもこのような特殊災害に直面することが想定され、当院で患者さんを受け入れる可能性は十分にあることから、マニュアルの整備を始めとした対応を今後進めていく予定です。



訓練の様子

(参加: 救急科・山岸副部長、看護部・伊藤主任、薬剤部・早川、中央放射線部・加藤、事務課・森山)

「全国大学サイト・ユーザビリティ調査2017-2018」で、 本学がパソコン編で全国第1位に輝きました!

日経BPコンサルティングによるこの調査は、大学ウェブサイトの使いやすさなどを評価したものです。本学はおかげさまで、パソコン編で全国1位、スマートフォン編で全国4位となりました。今後も、どなたでも使いやすく、わかりやすいウェブサイトを目指していきます。

■詳しくは本学ウェブサイトから以下のページをご覧ください。<http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/press/news/news/010273.html>

DATE 2017.12.9

名古屋市立大学×名古屋学院大学×名古屋工業大学 地域と育む未来医療人「なごやかモデル」公開シンポジウムを開催

2017年12月9日(土)、「いつまでも自分らしく暮らせるまちづくりを進めよう」をテーマとした同シンポジウムを開催しました。厚生労働省の佐々木昌弘課長から「これからの医療人教育の方向性」についての講演があり、「なごやかモデル」の重要性と先進性を評価いただき、また千葉大学の原孝紀講師から千葉大学での取り組み内容をご紹介いただきました。最後に今後の医療人教育についてパネルディスカッションを行い、地域医療に貢献する医療人養成の推進の現状と課題について論議し、この取り組みの継続の必要性が再確認されました。

■詳しくは「なごやかモデル」ウェブサイトをご覧ください。 <https://nagoyaka-model.jp/>



DATE 2017.11.18

総合生命理学部 新設記念

サイエンスパートナーシップイベント 中学・高校生を対象とした 「サイエンスカフェ in 名古屋」

2017年11月18日(土)、名古屋市科学館の特別協力のもと、中区ナディアパーク内にある7thカフェにて開催しました。同科学館の西本昌司主任学芸員と本学システム自然科学研究科の三浦均准教授に話題提供いただき、「結晶」のふしぎについて理解を深めました。講演後は参加者から多くの質問が寄せられ、「科学分野の原理を理解できとても面白かった」などの声をいただきました。



大学院 経済学研究科

公開シンポジウム「“伝える”を考える」

2017年11月23日(祝)、伝統芸術や技能継承、あるいは教育といった異分野の若手研究者による講演及び公開討論を行う同シンポジウムを開催しました。100人を超える幅広い年齢層からの参加があり、高校生からも「大変参考になった」との感想が寄せられました。

写真左から、本学・横山和輝准教授、一橋大学・清水洋教授、本学・藤井尚子准教授、名古屋大学・内田良准教授



DATE 2017.11.23

DATE 2017.12.8

看護学部 なごや看護生涯学習公開講演会を開催

2017年12月8日(金)、「エンド・オブ・ライフケア病院・在宅でいかに生きるかを支える看護ー」をテーマに、地域看護専門看護師でもある三輪恭子先生(よどきり医療と介護のまちづくり株式会社取締役)による講演を行いました。大阪を拠点とした「よどまちステーション」の挑戦と具体的な取り組み例をあげながら、地域連携システム構築の重要性について理解を深めました。



DATE 2017.12.16

人文社会学部 看護学部 医学部 合同

死生学シンポジウム

2017年12月16日(土)、死生観の歴史の変遷や今年度4月に全学で実施した死生観アンケートの結果報告、また死を教育で教えていくことの意味、自分らしい最期を考えるための緩和ケア医からの提言など、死生学という学問の幅広さをうかがわせるシンポジウムを開催しました。特別講演は、死生学を長年主導してこられた京都大学のカール・ベッカー氏。パブル後に死生観が変化した我々日本人に、日ごろの死に対する準備の重要性と「Dead but not Lost」の考え方を語りかけ、230人を超える参加者はその躍動感あふれる口調での説明に聞き入っていました。



ベッカー氏と本学教員とのパネルディスカッションの様子

DATE 2017.12.23

人文社会学部 愛知学長懇話会主催

第2回 サステナビリティ・リレー シンポジウム開催!

2017年12月23日(祝)、2016~30年の国際目標である「SDGs(持続可能な開発目標)」の目標4「教育」と11「まちづくり」に関わるテーマを掲げた同シンポジウムを開催しました。6つの大学生チーム(内、4チームは本学)と3つの高校生チームが日ごろの学びの成果を報告。発表内容を踏まえ、「持続可能な都市 なごや」に向けた3か条の提案をつくるために高校生と大学生が共にワークショップを行うなど、貴重な学びの時間となりました。

<参加>

名古屋市立大学(人文社会学部:別所・三浦・曾我ゼミ、看護学部:地域保健看護学ゼミ)
あいさすティナ研究所(大学生混合チーム)
名古屋市立北高等学校・名東高等学校
愛知県立愛知商業高等学校ユネスコクラブ



DATE 2017.10.28

看護学部

保健師交流会開催!

2017年10月28日(土)、保健師として活躍する卒業生との交流を目的とした保健師交流会を開催しました。今年度は「産業における保健活動」をテーマに、看護学部の卒業生で中部電力勤務の雑子侑里(ぞこゆり)さん、サンエイ勤務の佐藤こなつさんが日々の活動を報告しました。参加者間での意見交換等を行うことで、在学生には自らのキャリアを考えるきっかけになるなど、有意義な1日となりました。



2007年度から毎年実施。
今年度は卒業生17人、在学生9人、教員5人が参加。

男女共同参画推進センター

「学生・教職員交流会」

「特別講演会～モチベーションでバランスアップ～」を同日開催!

2017年11月1日(水)開催の同交流会では、学業や仕事、日常生活を楽しむためのモチベーションを保つ工夫が活発に提案されました。引き続き、医学部附属病院との共催で開催した特別講演会では、学生・教職員あわせ115人が参加。同じ参加者として互いに考え合う貴重な機会となり、モチベーションを育む考え方や具体的な方法を学びました。



交流会での意見交換の様子



講演会講師の菊入みゆき氏

DATE 2017.12.15

第8回 教育改革フォーラム

平成29年度 東海地区大学教育研究会研究大会開催!



2017年12月15日(金)、高大接続と大学教育改革をテーマに同大会を開催し、本学の加藤学長特別補佐による基調講演を始め、名古屋大学、中京大学、向陽高校による事例報告、全体討論などが行われました。参加者からは「高大接続改革の背景や現状を理解するのに役立った」といった声が寄せられ、これからの大学教育改革を考える場となりました。

DATE 2018.2.11

学部や世代を超えて人をつなぐ「名古屋市立大学交流会」を開催

2018年2月11日(祝)、平成29年度の同交流会総会・講演会・懇親会を開催しました。当日は、総会にて議事の審議、中日新聞社顧問・主筆の小出宣昭氏のご講演、最後に懇親会を開催し、学部や世代を超えて参加者が交流を深めました。

名古屋市立大学交流会とは?

本学の発展と社会貢献を目的とした、卒業生、現・旧教職員などで構成される全学レベルの組織。

■名古屋市立大学交流会ウェブサイト <http://www.koryukai.jp/>



DATE 2017.12.6・7

最先端の技術シーズを発信!

「中部地区医療・バイオ系シーズ発表会」を開催!

2017年12月6日(水)・7日(木)の2日間、本学をはじめとする中部地区の17の大学・研究機関が集結し、千種区吹上ホールにて同発表会を開催しました(第4回メディカルメッセと同時開催)。本学は、医学研究科 酒々井眞澄教授と高瀬弘嗣技術職員(研究代表者は稲垣宏教授)の研究成果を、ポスター発表やブースツアーで紹介。2日間で、企業関係者を中心に計3,961人が来場し、本学のシーズを知っていただく絶好の機会となりました。



DATE 2018.1.17-19

本学の研究成果を通じて 愛知・名古屋の魅力を発信

「第47回 インターネプコンジャパン」に出展!

2018年1月17日(水)から19日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催された第47回インターネプコンジャパンに、芸術工学研究科 松本貴裕教授が出展しました。

本出展は、愛知県・名古屋市が、愛知・名古屋への企業誘致促進を目指すことを目的とした「愛知・名古屋産業立地プロモーション事業」に、本学が協力したものです。本学の魅力や研究成果を通じて愛知・名古屋をPRする絶好の機会となりました。





学生の活躍

大学・高校・行政・地域の皆さんなど、さまざまな立場で選挙について意見を交わした同区民講座の様子



人文社会学部 18歳選挙権にかかるさまざまな取り組み

政治への関心や選挙の重要性を理解してもらおうと、学生自らの手でさまざまな活動が行われています。2017年10月12日(木)には、名古屋市選挙管理委員会と連携し、滝子(山の畑)キャンパス内にて衆議院議員選挙にかかる啓発キャンペーンを実施。選挙直後の10月26日(木)には、三浦哲司准教授のゼミの学生と御剣(みつぎ)学区の方々で「政治って何だろう」をテーマに世代を超えた話し合いをしました。また三浦ゼミの学生は12月に「瑞穂ふれあい区民講座」「名古屋経済大学市邨高校での出前授業」へ主体的に参加するなど、自ら学びながら多くの人たちへ選挙の大切さを発信しています。

みつぎ 瑞穂区御剣学区との連携「山の畑プロジェクト」 市大祭ブース出店とおしゃべり茶話会開催!

滝子(山の畑)キャンパスのある瑞穂区御剣(みつぎ)学区の皆さんと本学学生が協働し、サツマイモなどを育てる「山の畑(はたけ)プロジェクト」に取り組んでいます。2017年11月11日(土)には市大祭においてブースを出店し、サツマイモスティックなどを販売したところ、わずか3時間で完売となるなど来場者の興味を引きました。また、11月30日(木)には、2014年度から年1回実施している意見交換会「おしゃべり茶話会」を開催し、日ごろの活動を共有するとともに、今後の連携内容を話し合いました。



経済学部 「ゼミエキスポ」を開催!

2017年11月30日(木)、学生会館2階大ホールにおいて、第2回ゼミエキスポを開催しました。各ゼミの1年間の研究成果を3・4年生がポスターセッションの手法を用いて報告。参加した2年生は、ゼミでの研究内容に直接触れる貴重な機会となっています。



学生の受賞

芸術工学部

平成29年度 日本造園学会中部支部大会
「最優秀学生発表賞」

〈受賞者〉 建築都市デザイン学科4年 大橋美紗希さん

芸術工学部

瑞穂区ジョギングパトロールグッズ(ビブス・缶バッジ)
新デザイン応募「最優秀作品賞」

〈受賞者〉 産業イノベーションデザイン学科4年 林映見さん



教員著書・発行物紹介

「福祉世界 ～福祉国家は越えられるか～」

著者: 経済学研究科 教授
藤田 菜々子
出版: 2017年10月 中央公論新社



「保安処分構想と医療観察法体制 ～日本精神保健福祉士協会の 関わりをめぐって～」

著者: 人間文化研究科 准教授
樋澤 吉彦
出版: 2017年10月 生活書院



「経過別成人看護学① 急性期看護: クリティカルケア」

編者: 看護学部 教授 明石 恵子
看護学部 准教授 益田 美津美
著者: 医学部附属病院看護部 他
出版: 2017年12月 メチカルフレンド社



「経過別成人看護学② 周術期看護」

編者: 看護学部 教授 明石 恵子
看護学部 准教授 鳶田 理佳
著者: 医学部附属病院看護部 他
出版: 2017年12月 メチカルフレンド社



PRIZE 受賞

※受賞期間:2017年10月1日~2018年1月31日 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載

■医学研究科

第25回 日本消化器関連
学会週間(JDDW) 優秀演題



消化器・代謝内科学
病院助教
片野 敬仁

2017 San Antonio Breast Cancer
Symposium Travel Grant



乳腺外科学
臨床研究医
西川 さや香

日本癌治療学会
第17回 研究奨励賞



乳腺外科学
助教
波戸 ゆかり

第139回 名古屋肝疾患研究会
優秀演題賞



消化器外科学
助教
森本 守

■医学部附属病院

平成29年度 医学教育等関係業務
功労者表彰



看護部
小齊平 寿美子
(こせひら)

平成29年度 医学教育等関係業務
功労者表彰



中央放射線部
樋口 真

■薬学研究科

平成29年度 日本排泄機能学会
河邊賞



病院薬剤学分野
講師
堀田 祐志

■人間文化研究科

第5回 古代歴史文化賞(島根・奈良・
三重・和歌山・宮崎県主催) 優秀作品賞



教授
吉田 一彦
著書「『日本書紀』の呪縛」
(集英社新書)に対して

第5回 男女共同参画奨励賞

男女共同参画社会の実現に関連する優れた研究・活動などを行っている
本学の在学生を表彰し、事例報告会を開催しました。

山本陽子・奥田伸子合同ゼミ・
ワークライフバランス研究会
(報告会出席の学生)
経済学部4年
(中央前列左から)
木全 真希 さん、北村 早希 さん
(中央後列左から)
磯谷 尚 さん、岡部 将大 さん、
鳥飼 尚史 さん



国際交流

INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE

大学院 医学研究科

韓国・漢陽大学と学部間交流覚書を締結

2017年10月26日(木)に締結した
同大学は、ソウル市に所在する総合
大学で、韓国ではトップレベルの大学
です。当日は、ホ・スン・チョイ医学
部長を含む教員3人が医学研究科を
訪れ、締結式を行うと共に両大学の
紹介や、附属病院及び各キャンパス
の見学を行うなど相互理解を深めま
した。



ホ・スン・チョイ医学部長(中央左)、
道川誠医学研究科長(中央右)を中心に記念撮影

看護学部 東ティモール スタディーツアー報告会

2017年8月27日(日)から9月2日(土)、看護学部3年の吉江裕子さん(写真中央左)、井上欄さん(写真中央右)が、国際保健看護サークルAGHの活動として、東ティモールでのスタディーツアーに参加しました。パーツ大学での交流、都市や農村の保健センターの訪問、青年海外協力隊員の方々からの聞き取りなどを通して、日本と状況が大きく異なる国の健康問題や実践方法を学びました。11月7日(火)には看護学部での報告会を開き、学びを共有しました。



大学院 薬学研究科

梨花女子大学×名市大 ジョイントシンポジウム

2017年2月に本学薬学部と学部間学術交流協定を締結した梨花女子大学(ソウル)とは、11月16日(木)に梨花女子大学を会場として、第1回梨花NCUジョイントシンポジウムを開催しました。本学からは6人の教員が出席し、4人が講演しました。今後の両学間での国際交流の拡充が期待されます。

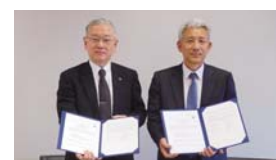


会場での集合写真

大学院 芸術工学研究科

韓国中央大学工学部との学部間交流協定の締結

2017年10月27日(金)、韓国の中央大学工学部から、崔 英(チョイ ヨン)工学部長、前副総長の柳 洪善(ユ ホンソン)教授が来学され、調印式を行いました。今後は、これまで研究室同士で行っていた共同研究を学部間に広げ、学術交流・人的交流のさらなる充実が期待されます。



草間晴幸芸術工学研究科長(左)、
崔 英工学部長(右)

イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

授業公開

| 開催日 | 内容 | 場所 | 対象・費用 | 申込方法 |
|-----------------------------------------------------------------|-------------|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4.12 THU - 7.26 THU 各科目 全15回 学部学生に開講している授業 科目を学生と一緒に受講 | ①経済学部 1科目 | 滝子(山の畑)キャンパス | 対象:原則として名古屋市内在住または在勤の 満20歳以上の社会人で、開講期間中、 継続して受講可能な方 費用:1科目につき 3,000円 | 詳しい日程・申込方法は本学ウェブサイト 授業公開のページをご覧ください。 http://www.nagoya-cu.ac.jp/science/ contribution/event/cat03.html 申込締切:3月9日(金)消印有効 |
| | ②人文社会学部 4科目 | | | |
| | ③芸術工学部 1科目 | 北千種キャンパス | | |

医療・保健 学びなおし講座 春期

| 開催日 | 内容 | 時間・場所・費用・定員 | 申込方法 |
|----------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4.10 TUE - 7.26 THU 各テーマ 全15回 | 開講テーマ 「感染症」 「痛みと緩和医療」 「高齢者医療」 | 18:30~20:00 桜山(川澄)キャンパス医学部研究棟11階講義室A 対象:医療と保健分野の国家資格保有者、 一般で興味のある方 費用:1講座 14,800円 定員:各60人程度 | 所定の申込用紙を下記のウェブサイトよりダウンロードし記入の上、 メール添付または郵送にてお申し込みください。 http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/ メール:manabi@med.nagoya-cu.ac.jp 申込期限:4月2日(月)必着 TEL:052-853-8077 FAX:052-842-0863 |

サイエンスカフェ in 名古屋

| 開催日 | 内容 | 時間・場所・費用・定員 | 申込方法 |
|----------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3.16 FRI | 第129回「人工知能」の過去・現在・未来 講師:システム自然科学研究科 准教授 渡邊 裕司 | 18:00~20:00 中区栄 ナディアパーク内 デザインセンタービル7階 7th cafe(セブンスカフェ) 費用: 600円 (飲み物+お菓子) 定員:各先着30人 | お名前・ご住所・ご希望の回(開催日)を ご記入の上、お申し込みください。 メール:scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-872-5802 FAX:052-872-1531 ※開催日の1カ月前から、次回開催分の受付を開始いたします。 詳しくはサイエンスカフェ in 名古屋の ウェブサイトをご覧ください。 http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/scicafe/index.html |
| 4.20 FRI | 第130回「結び目の数学と応用」 講師:システム自然科学研究科 教授 鎌田 直子 | | |
| 5.18 FRI | 第131回「最強の若者は生態学者を目指す!」 講師:システム自然科学研究科 准教授 村瀬 香 | | |

芸術工学部 映像研究室 映画「無古屋(ナゴヤ)」上映会

| 開催日 | 内容 | 時間・場所・費用 |
|----------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3.18 SUN | 名古屋市「平成29年度 名古屋なんて、だいすき事業」選出。 「もしも日本から名古屋が消えてしまったら!」をテーマに制作。 | 開場 ①16:00 ②17:00 中区伏見ミリオンス 費用: 800円 詳しくは芸術工学部映像研究室のホームページをご覧ください http://www.sda.nagoya-cu.ac.jp/ykurihar/ |

卒業式 **3.26 MON** 10:00~ 会場:名古屋国際会議場 センチュリーホール

入学式 **4.5 THU** 10:00~ 会場:名古屋国際会議場 センチュリーホール

寄附顕彰

大学振興基金・名市大生みらい応援基金へのご寄附ありがとうございました。

大学振興基金

- 個人
- 1千万円以上 牧 誠 様
 - 50万円以上 能登原 盛弘 様
 - 10万円以上 青木 耕治 様、芋瀬 基明 様、大手 信之 様、大原 弘隆 様、小澤 正敏 様、伸 須美子 様、永島 義久 様、宮本 直哉 様、飯田 真介 様、田中 創始 様、馬嶋 昭生 様、和田 昌也 様、小林 正学 様、田島 譲二 様、中村 均 様、水野 サヨ子 様、木村 雅俊 様、小島 透 様、竹村 敏恵 様、玉井 一司 様、中野 聡子 様、箱山 ひろこ 様、日野谷 喜代子 様、三宅 壮一 様、森 俊夫 様
 - 5万円以上 明石 恵子 様、赤津 裕康 様、磯部 謙二 様、大島 忠之 様、大谷 健佑 様、大平 忍 様、小川 恵美 様、尾関 年則 様、風間 裕子 様、加藤 敬 様、木村 滋 様、坂本 宣弘 様、白木 茂博 様、中尾 尚稔 様、中谷 隆男 様、中山 明峰 様、萩原 宏美 様、松崎 愛子 様、松田 尚子 様、松永 博 様、間宮 敦 様、森 正樹 様、森田 明理 様、山越 祐介 様、山崎 健二 様、山野 耕嗣 様、吉田 均 様、吉本 信保 様
- 団体
- 10万円以上 医療法人愛精会 あいせい紀年病院 理事長 森 隆夫 様、医療法人研精会 豊田西病院 様、医療法人崇和会 おなかとおしりのすずきクリニック 様、医療法人大真会 大隈病院 様、医療法人 はなざきクリニック 様、医療法人八事の森 理事長 森 亮太 様、医療法人横田耳鼻咽喉科 理事長 横田 明 様、エモア眼科 片山 真理子 様、公益社団法人岐阜病院 理事長 鈴木 祐一郎 様、薬学部一期会 様
 - 5万円以上 きりやまクリニック 桐山 昌伸 様
 - 非公表 医療法人瑞心会 渡辺病院 理事長 渡邊 靖之 様、医療法人正育会 春木レディースクリニック 理事長 春木 篤 様、さとろクリニック 佐藤 滋樹 様、社会医療法人聖泉会 聖十字病院 理事長・病院長 田伏 英晶 様、わたなべ耳鼻咽喉科 渡邊 暢浩 様

名市大生みらい応援基金

- 個人
- 10万円以上 伸 須美子 様、玉井 浩子 様
 - 5万円以上 芋瀬 基明 様、馬嶋 昭生 様
 - 1万円以上 大田 繁 様、小林 澄子 様、水野 サヨ子 様、水野 勤 様、山中 光太郎 様
 - 5千円以上 木村 雅俊 様、小島 透 様、竹村 敏恵 様、中野 聡子 様、箱山 ひろこ 様、森 俊夫 様
 - 非公表 磯部 謙二 様、大森 豊緑 様、佐渡山 住子 様、竹村 忠 様、名倉 芳夫 様、松田 尚子 様、間宮 敦 様、森 正樹 様、安田 陽子 様、山内 康稔 様

※五十音順。2017年10月1日から12月31日までに寄附いただき、公表に同意された方。 ※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。 ※古本募金により寄附いただいた方につきましては、提携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。

募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想を
ぜひ事務局企画広報課までお寄せください!
E-mail:ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp

本学教職員の
皆さんへ

広報誌「創新」に掲載したい情報はE-mailで、
広報に関する報告・相談は教職員限定サイト「広報ホットライン」
をご活用ください。